

幸 区



■人口 153,923 人 ■世帯数 70,114 世帯
■面積 10.09 km²
(2010年4月1日現在)

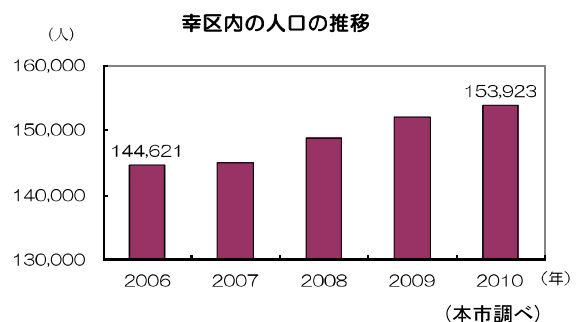
■ 区の概況と特性

- 幸区は、1972年に政令指定都市へ移行する際、旧御幸村の名を継承し、「幸多い」地域になって欲しいという地域の人々の願いを込めて「幸区」と名づけられました。
- また、川崎市の南東部に位置し、多摩川、鶴見川及び矢上川に挟まれた比較的平坦な地形で、旧来から住宅市街地が広がり、多数の大型工場が立地するとともに、高い交通の利便性を活かし、市内企業の社宅なども数多く存在していました。
- 区内の南西部には、多摩丘陵の南端にあたり、「夢見ヶ崎公園」が位置する加瀬山一帯が、緑豊かな情景を見せています。
- 近年では産業構造の転換に伴う大規模工場の移転が進み、駅前には我が国国有数の大規模商業施設や超高層集合住宅、そして、ミュージア川崎シンフォニーホールなども立地し、駅前広場やペDESTリアンデッキなどの整備も進み、川崎市の新たな顔づくりも着実に進んでいます。
- また、大学など研究施設の誘致を図ることにより、最先端の科学技術関係施設の集積も進んでいます。
- 幸区は、人口及び面積ともに市内で最も小さい区となっていますが、人口密度は中原区に次いで2番目と高くなっています。

■ 区の現状と主な課題

川崎駅西口、新川崎駅・鹿島田駅周辺を中心とした人口の増加

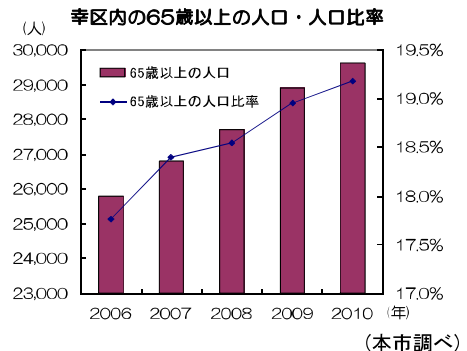
- 幸区の人口は、この5年間で約1万人近く増加しています。これは、川崎駅西口周辺地区をはじめとして、新川崎駅や鹿島田駅周辺地区など、駅至近の工場跡地等が開発適地と評価されたことにより、大型共同住宅が次々に建設され、これらに伴う転入者の増加が大きな要因となっています。
- まだ多数の開発適地が残っていることから、今後10年間で合計約5,000戸程度の共同住宅の建設が予測されており、引き続き人口増加傾向は続くものと予想されます。
- 特に、新小倉や鹿島田では、大型共同住宅の建設が予定されており、今後も人口の増加が見込まれることから、新川崎駅・鹿島田駅周辺など開発の進む地域への子育て環境などの対応も求められています。



進行する高齢化への対応

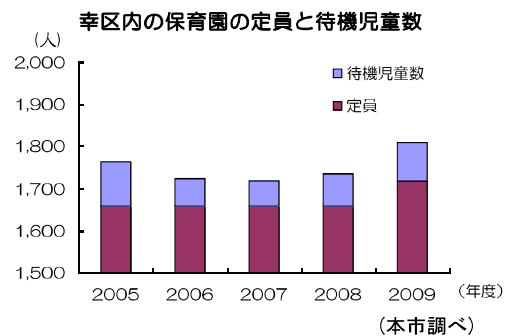
- 人口増加に加え、幸区では、高齢化率(65歳以上の人口比率)が市内で2番目に高く、19.2%にも達しており、区民アンケートの結果からも比較的長く居住する傾向が強いことから、今後も高齢者は増加の一途をたどるものと考えられます。

- 区内の高齢化率を町名別に詳しく見てみると、全59町丁のうち、約4割にあたる24町丁で20%を超えています。
- 中でも、高齢者の単身世帯の増加が著しく、全世帯に占める割合が市内で2番目に高いなど、日常生活における地域での助け合いや高齢者を孤立させない取組がさらに強く求められるようになってきました。
- こうした高齢者の増加に対応した健康維持のための機会づくりや、高齢者福祉に関するさまざまな取組等に加え、相互助け合いなどのきめ細かな施策も交えた、「高齢者が健康で心安らかに地域で住み続けられる、総合的なまちづくり施策の推進」が今、求められています。



子育てをめぐる環境整備

- 大型共同住宅の建設等により、区内では子育て世帯の転入が増加しており、その子どもたちや保護者を地域においてどのように受け入れ、また、支援を行っていくのが課題となっています。
- 幸区は交通の利便性が高く、共働き世帯が多いため、区内認可保育所の定員枠の拡充を図っているものの、急増するニーズに追いつかず、待機児童を解消するまでには至っていません。



- このため、引き続き認可保育所の定員枠の拡充を進めていく必要があります。
- 現在、乳幼児とその保護者に遊び場を提供する5つの「地域子育て支援センター」と、地域の子どもたちに活動の場を提供する6つの「こども文化センター」が区内に開設されています。また、さまざまな運営主体による子育てサロンも区内で多数展開され、地域における子育ての受け皿となっています。
 - 子育て支援ニーズの高まりにより、これらの施設を活用した父親の育児参加や、ボランティア・保護者同士の交流推進など、地域における総合的な子育て支援施策の推進も求められています。これらのネットワーク化も含めて、子育てを地域で支える総合的なしくみづくりも必要となっています。

地域コミュニティの再構築

- 幸区は、区民アンケートによると、居住年数が20年以上の区民が5割を超え、また、今後も区内に住み続けたいと答えた区民が8割に達するなど、定住志向が非常に高い区であり、とても住みやすい、または、住みやすいと回答した区民も8割を超えるなど、多数の区民が、幸区は「住みやすい区」であると感じ、今後も住み続けたいと希望していることがうかがえます。
- しかしながら、大型共同住宅の建設等による若い世代の増加によって、区民のライフスタイルも多様化し、従来からの町内会・自治会を基礎とした地域コミュニティが希薄化してきたことは否めません。
- 最近では、大型共同住宅に町内会組織が設立されない事例が見受けられるなど、近隣との助け合いを基本とした、災害時における要援護者支援体制などに不安が生じています。

- このため、今後とも継続して地域活動ができるよう、町内会・自治会運営の活性化策や若い世代の組織への積極的な参画、町内会・自治会の活動を支える包括的なしくみづくりなども求められています。

身近な住環境の環境整備

- 「加瀬山」として区民に親しまれている「夢見ヶ崎公園」一帯には、市内で唯一の動物園が存在し、公園内には多くの古墳や遺跡が点在する等歴史的な側面も有しており、重要な地域資源となっています。
- また、夢見ヶ崎公園は「市民健康の森」として位置づけられており、市民活動団体による樹木の管理も行われるなど、豊かな自然を媒介に、地域住民のコミュニティの場として活用されています。
- しかしながら、夢見ヶ崎公園は丘陵地に立地しているため、多数の階段や段差があるほか、降雨後にはぬかるみが発生し、車椅子やベビーカーなどの利用者に対して十分な整備が行われているとはいえません。
- このため、アクセス路の段差解消、また、園路やサイン、ベンチの整備など、夢見ヶ崎公園の魅力発信のための総合的な施策展開が求められています。
- また、幸区は比較的平坦な土地であることから、移動には自転車が多用され、川崎駅西口、新川崎駅・鹿島田駅及び大型店舗などの周辺では、多くの放置自転車が見受けられます。
- 幸区民アンケートにおいても、放置自転車対策を今後も特に力を入れてほしいという要望が25%に達するなど、区民の関心と要求は高いものとなっています。
- 特に鹿島田駅周辺は、通勤通学利用に加えて、店舗利用者による一時利用が多く、商業者による駐輪場の整備を行ったものの改善には至っていません。
- このため、一時利用者の公共駐輪場の整備も含め、地域と行政の協働による総合的な放置自転車対策を実施する必要があります。
- 川崎駅西口、新川崎駅・鹿島田駅周辺では、駅前広場や道路、歩道の整備などが進められ、バリアフリー化を推進するとともに、大型共同住宅や大規模商業施設などが立地し、優良な市街地形成が進められています。また、これらにより、新たなコミュニティ形成も期待されているところです。
- 幸区は科学技術関連企業や施設が多数立地しており、こうした企業等で働く科学技術者の割合が川崎市で最も高いものとなっております。また、新川崎・創造のもり計画推進事業などにより、最先端の施設整備と研究開発も進められています。
- また、これらの施設を活用した科学講座など、子ども向けの催しを実施することにより、子どもたちが身近に科学に接する機会を提供し、地域にとって貴重な資源となっています。
- 幸区の地域資源の一つである多摩川は、スポーツなど市民のいこいの場として活用されるとともに、沿線での大型共同住宅の建設機会などをとらえてスーパー堤防事業が実施され、安全安心な堤防づくりが進められています。
- また、より多くの区民が多摩川を快適に利用できるよう、アクセス環境などの整備を進め、利用者の利便性向上に向けた取組も進められています。

■ 地域の課題解決に向けた主要な取組

①次世代を担う子どもたちを、地域ですこやかに育てることのできる『持続するまちづくり』

■計画期間(2011～2013年度)の取組

主として転入による子育て世代の増加に伴う対応として、子育て支援体制の充実を図るとともに、区内の子育てネットワークの連携も進め、地域における子育て支援の環境を整えます。

■具体的な事業

⇒ 総合的こども支援事業	【区役所の主体的な取組】
パパッとサタデー事業	【区役所の主体的な取組】
幸区うえるかむサロン事業	【区役所の主体的な取組】
地域子育て支援事業（保育事業）	【区役所と関係局が連携した取組】
地域子育て支援事業（地域事業）	【区役所と関係局が連携した取組】

②高齢社会を念頭に、いつまでも心安らかに地域で安心して『住み続けられるまちづくり』

■計画期間（2011～2013年度）の取組

今後、更に進展する居住者の高齢化への対応として、地域で心安らかに安心して住み続けられ、高齢者同士がふれあいながらすこやかに暮らしていけるコミュニティの形成や、いつまでも健康に暮らしていけるしくみづくりを進めます。

■具体的な事業

⇒ ふれあい&すこやか（ふれすこ）事業	【区役所の主体的な取組】
健康長寿推進事業	【区役所の主体的な取組】
地域包括支援センターの運営	【区役所と関係局が連携した取組】

③地域のつながりを大切に、人々が共に支え合い、顔の見える『暮らしやすいまちづくり』

■計画期間（2011～2013年度）の取組

長く幸区に居住している住民が多い一方、近年、若い世代の転入も増えており、ライフスタイルの多様化や、地域における関係の希薄化も見受けられるようになってきました。

また、従来から地域活動を支えてきた町内会・自治会役員の高齢化や加入率低下なども課題として挙げられています。今後もこれら組織が継続して活発な活動ができるよう、地域活動の支援と地域による支え合いの強化を図るとともに、各種活動を通して、地域を支える人材育成などの支援を行います。

■具体的な事業

⇒ 地域コミュニティ活動の推進事業	【区役所の主体的な取組】
地域の魅力発信事業（夢見ヶ崎公園周辺魅力発信事業）	【区役所と関係局が連携した取組】
鹿島田駅周辺総合的環境整備事業	【区役所と関係局が連携した取組】

～参加と協働の取組～

■ 区民会議

＜これまでの審議状況＞

区内では、大型共同住宅の建設などに伴い、町内会・自治会への加入率の低下や新たな地域コミュニティの形成、子育て環境の整備や高齢者支援などさまざまな地域課題が発生しています。

このため、区民会議では「地域の課題を自ら発見し解決する」という基本的な考えのもと、2006年度から2007年度の2か年は「地域防災活動の推進」「魅力づくりと市民活動の推進」「身近な地域での高齢者の健康づくり」「安心して子育てできる環境づくり」「自転車に係わる交通安全」「地域でのごみ減量・リサイクル」の6つの審議テーマについて検討を重ねました。

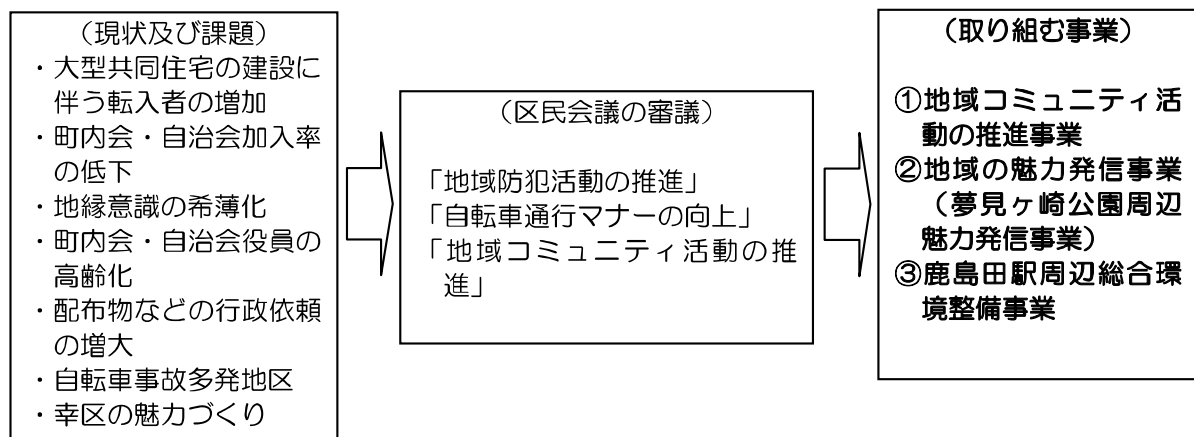
さらに、2008年度は「地域防犯活動の推進」「地域コミュニティ活動の推進」について、2009年度は「地域防犯活動の推進」「自転車通行マナーの向上」「地域コミュニティ活動の推進」について審議を行い、それぞれの課題解決に向けた提言を行いました。

＜区民会議の審議を踏まえた主な取組＞

区では区民会議での審議を踏まえて、①地域のまちづくり推進や課題解決に大きな役割を担っている町内会・自治会の魅力と必要性を広く区民に周知するとともに、町内会等の活動の活性化を支援するため「地域コミュニティ活動の推進事業」を推進します。

また、幸区の地域資源である夢見ヶ崎公園に着目し、②地域コミュニティ活動の推進と新たな住民交流と融和をめざして、必要な環境整備を進める、「地域の魅力発信事業」も実施します。

さらに、③自転車通行マナーの向上など交通安全マナーの啓発や放置自転車対策、ポイ捨て防止活動などを鹿島田駅周辺の地元住民等と協働で活動を進め、鹿島田駅周辺の活性化と暮らしやすいまちづくりの実現をめざす「鹿島田駅周辺総合環境整備事業」にも取り組みます。



■ 市民提案による協働の取組

● 幸区提案型協働推進事業

行政と地域の団体が協働して地域の抱える課題を解決するため、事業提案を募集し、提案団体との取組を進めています。

＜2010年度実施の事業＞

- ・楽しく子育て@ふるいちば
- ・おでかけ“ほかほか”～お外でもっとあそぼうよ！出張青空子育てひろば
- ・幸区のしあわせ発信事業（「しあわせ」をキーワードにした地域の商店の取組を発信）

■計画期間の具体的な取組

事業名	事業内容	計画期間（2011～2013年度） の具体的な取組
-----	------	------------------------------

I 安全で快適に暮らすまちづくり

I - 2 災害や危機に備える

地域防災活動の推進事業 （安全・安心まちづくり事業）	避難所運営会議や防災ネットワーク連絡会議の活動などの支援を進め、地域の防災力の強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●避難所運営会議の立ち上げ促進 ●避難所ごとの運営マニュアルの策定 ●避難所運営会議の自主運営支援 ●要援護者避難支援に係る訓練の支援
地域防災推進事業 ＜局区連携事業＞	市民、企業の防災力の向上と連携を促進して地域防災体制の充実を図るとともに、災害発生時に災害時要援護者の避難支援ができるよう、地域の共助による避難支援体制づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織との連絡・調整 ●総合防災訓練の実施 ●要援護者避難支援のため民生委員との連携

I - 4 快適な地域交通環境をつくる

バリアフリー重点整備地区交通安全施設整備事業 ＜局事業＞	主要駅を中心としたバリアフリー重点整備地区の公共施設等への経路において、バリアフリー対策を実施します。	●重点整備地区（新川崎・鹿島田駅周辺地区）のバリアフリー化の推進
あんしん歩行エリア整備事業 ＜局事業＞	交通管理者及び市民の参加により整備計画が策定された地区について、交通安全対策を実施します。	●あんしん歩行エリア（南加瀬地区）の交差点のカラー化等の実施
橋りょう整備事業 ＜局事業＞	老朽化が著しい江ヶ崎跨線橋を架け替えます。	●江ヶ崎跨線橋架け替え工事の完成（2012年度）
放置自転車対策事業 ＜局事業＞	放置自転車の解消に向けた駐輪場整備や放置禁止区域の指定など、放置自転車防止対策を推進します。	●総合的な放置自転車対策への対応 ・ソフト施策の推進（誘導・啓発等の実施）

II 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり

II - 1 超高齢社会を見据えた安心のしくみを育てる

ふれあい&すこやか（ふれすこ）事業 （地域福祉・健康づくり事業） ※⇒主要な取組②	地域における人々の支え合いを醸成し、高齢者自らがふれあいがらすこやかに地域で暮らし続けられる環境づくりの実現をめざします。	<ul style="list-style-type: none"> ●ふれすこサポーターの養成 ●ふれすこ交流会、啓発イベントの実施
健康長寿推進事業 （地域福祉・健康づくり事業） ※⇒主要な取組②	高齢者が地域とのつながりを持ちながら、健康長寿をめざし、住民主体の持続する健康づくり活動の展開を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな地区組織における、地域特性にあった高齢者健康づくり事業の実施 ●モデル実施した河原町地区組織における活動支援
地域における高齢社会への対応施策 ＜局区連携事業＞	進展する高齢社会に対応し、地域で心安らかに安心して住み続けられる、総合的なまちづくりをめざします。	<ul style="list-style-type: none"> ●第3期幸区地域福祉計画の推進 ●第4期幸区地域福祉計画の策定と推進
介護予防事業 ＜局区連携事業＞	要介護状態の発生をできる限り防ぐ（遅らせる）ための予防事業を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●一般高齢者施策の推進 ・介護予防普及啓発事業 ・いこい元気広場事業 ・介護予防指導・育成事業 ・介護予防グループ支援事業

事業名	事業内容	計画期間（2011～2013年度） の具体的な取組
地域包括支援センターの運営 ＜局区連携事業＞ ※⇒主要な取組②	地域包括支援センターの着実な運営を通して、地域包括支援センターと区役所保健福祉センターとの連携を強化し、地域ケア体制の充実を図っていきます。	●高齢者人口の増加を勘案した地域包括支援センター機能の充実 ●各区地域包括支援センター運営協議会の運営
幸区内複合福祉施設整備事業 ＜局事業＞	いこいの家及び障害者通所施設の複合福祉施設を整備します。	●幸区内複合福祉施設開設（2011年度） ・御幸いこいの家 ・御幸日中活動センター
介護サービスの基盤整備事業 ＜局事業＞	多様な主体・手法により特別養護老人ホームや介護老人保健施設など介護保険制度における基盤整備を進めます。	●特別養護老人ホームの開所（2011年度） ・東小倉地区 100床 ・南幸町地区 120床程度 ・小向仲野町地区 29床程度（2012年度） ・河原町地区 150床程度

Ⅲ 人を育て心を育むまちづくり

Ⅲ-1 子育てを地域社会全体で支える

総合的こども支援事業 （総合的なこども支援事業） ※⇒主要な取組①	地域での子ども支援事業を推進し、安心して子育てできる地域社会づくりを進めます。	●子育て支援施策の実施・充実 ・こども総合支援ネットワーク会議 ・みんなで子育てフェアさいわい ・こども相談窓口 ・子育て情報誌の改訂 ・地域子育て支援センターふるいちばの第3土曜開所 ・発達障害児支援事業 ・幼・保・小連携連絡会 ・子育て支援関係機関・団体交流会
パパッとサタデー事業 （総合的なこども支援事業） ※⇒主要な取組①	父親の育児参加促進のため、土曜日にこども文化センターを活用した子育て支援事業を実施します。	●子育て支援講座の継続実施（講座型） ●区民ボランティア等との協働によるフリースペースの実施（自主運営型）
幸区うえるかむサロン事業 （総合的なこども支援事業） ※⇒主要な取組①	幸区に転入してきた世帯が孤立することなく子育てができるよう、転入者同士が交流するきっかけづくり及び地域の子育て支援施設等を知ってもらうことを目的として、土曜日に交流会を開催し、その後も交流できるよう支援します。	●幸区に居住して1年に満たない0～3歳未満児を持つ保護者を対象に転入者が多い地域の保育園等で継続実施
地域子育て支援事業（保育事業） ＜局区連携事業＞ ※⇒主要な取組①	地域子育て支援センター等を効率的に活用し、地域で安心して子育てができる環境づくりを進めます。	●地域子育て支援センターの支援・連携
地域子育て支援事業（地域事業） ＜局区連携事業＞ ※⇒主要な取組①	母子教室の実施や子育てグループ活動への支援を通じ、育児不安を軽減し、孤立することなく、地域で安心して子育てができる環境づくりを進めます。	●子育てサロン等の地域活動の支援
認可保育所の整備 ＜局事業＞	保育受入枠の拡大を図るため認可保育所を整備します。	●新規開所 鹿島田駅周辺（2011年度） 戸手2丁目地内（2012年度） 大宮町地内（2012年度） ●民営化による新築・開所 1か所 東小倉保育園（2012年度）
児童相談所・一時保護所再編整備事業 ＜局事業＞	こども家庭センター・児童相談所・一時保護所の再編整備を推進します。	●（仮称）こども家庭センター（新中央児童相談所）の開設・運営（2011年度）

事業名	事業内容	計画期間（2011～2013年度） の具体的な取組
-----	------	------------------------------

IV 環境を守り自然と調和したまちづくり

IV-1 環境に配慮し循環型のしくみをつくる

さいわいはじめようエコ事業 （環境まちづくり事業）	資源の有効活用やリサイクル等、区民の環境意識の啓発、高揚を図る取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●区民へのエコ啓発のための取組の継続実施 ●既存事業を体系化し、エコの取組に関する情報を発信
------------------------------	---	---

IV-3 緑豊かな環境をつくりだす

花と緑のさいわい事業 （環境まちづくり事業）	区民が行う緑化活動を支援し、花と緑のうまいあるまちづくりを進め、区民の緑化意識の高揚と明るい区づくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●区庁舎前庭における、区民ボランティアとの協働による花いっぱい事業の継続実施 ●大師堀公共花壇等における、地域の子どもと区民ボランティアとの協働による花植え事業の継続実施 ●花と緑をテーマとする区民交流イベントの継続実施 ●区内の公共花壇で緑化活動を行う団体への活動支援の継続実施
緑化推進重点地区整備事業 ＜局事業＞	緑化推進重点地区の面的な緑化により、花と緑を基調とした魅力あるまちづくりを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「新川崎・鹿島田駅周辺地区」において新たな緑化推進重点地区計画の策定

V 活力にあふれ躍動するまちづくり

V-2 新たな産業をつくり育てる

さいわいものづくり体験事業 （地域資源活用事業）	ものづくり関連施設や科学技術関係機関が集積した幸区の特徴を活かし、ものづくりや科学技術を体験的に学べる機会を提供し、ものづくりへの夢を育む取り組みを推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●「さいわいテクノ塾」の開催 ●「親子ものづくり塾」の開催 ●K2タウンキャンパスでの慶應義塾大学などと連携した事業の実施
新川崎・創造のもり第3期計画推進事業 ＜局事業＞	先端科学技術・新産業創造の研究開発拠点の形成と次世代を担う子どもたちの科学技術への夢を育む場の形成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●計画に基づく第3期地区の「ナノ・マイクロ産学官共同研究開発施設」の整備 ●施設における産学連携事業の展開

V-5 都市拠点機能を整備する

JR川崎駅北口自由通路等整備事業 ＜局事業＞	JR川崎駅北口自由通路等の整備により、駅へのアクセスと駅東西の回遊性などの向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●新たな改札口とあわせた北口自由通路の詳細設計・整備着手（2012年度）
川崎駅西口地区住宅市街地総合整備事業 ＜局事業＞	民間活力を活かした商業、業務、文化機能や都市型住宅機能の整備を進め、魅力と活力にあふれた本市の広域拠点の形成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミューザ川崎と堀川町C地区連結ペデストリアンデッキ設計・整備推進 ●民間開発の誘導
新川崎地区整備事業 ＜局事業＞	商業・業務機能、都市型住宅機能の導入と研究開発機能の拡充をめざし、民間開発を適切に誘導するとともに、都市基盤整備を進め、拠点形成を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ●道路、鹿島田跨線歩道橋及び交通広場の整備推進（2012年度整備完成） ●民間開発の誘導・整備促進
鹿島田駅周辺地区整備事業 ＜局事業＞	社会経済の変化や地域の意向を踏まえた安全で魅力ある地域生活拠点の形成を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●施設建築物の整備推進（2011年度着工） ●公共施設の整備推進（2011年度着工）

VI 個性と魅力が輝くまちづくり

VI-1 川崎の魅力を育て発信する

地域の魅力発信事業 《夢見ヶ崎公園周辺魅力発信事業》 （地域コミュニティ活性化推進事業） ＜局区連携事業＞ 【区民会議課題】 ※⇒主要な取組③	夢見ヶ崎公園周辺をコミュニティ活動の場と位置づけるとともに、緑環境や歴史的資源を守り育てることにより、魅力あるまちづくりを進める取組を区民参加のもとで進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●夢見ヶ崎公園周辺の魅力を活かす取組の実施 ●夢見ヶ崎公園周辺の魅力発信 ●市民参加による魅力発信の推進
--	--	--

事業名	事業内容	計画期間（2011～2013年度） の具体的な取組
音楽のまち推進事業 （地域資源活用事業）	音楽のある憩いとうるおいのあるまちづくりを進め、区民生活へのしあわせ感、安心感の提供とともに、音楽や演奏を通じた区民交流の機会を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> ●お昼休みに公共施設で実施する「夢こんさあと」の継続実施（2011年度に100回記念事業を予定） ●ミュージア川崎等を会場にストリート形式で行う「さいわい街かどコンサート」の継続実施 ●区内で活動する音楽愛好家が集う「さいわい区民音楽祭」の継続実施
VI - 2 文化・芸術を振興し地域間交流を進める		
幸アーカイブ～地域の記憶を残す～ 事業 （地域資源活用事業）	区内の郷土記憶を映像や記録で収集整理し、地域の歴史・変遷の記憶を共有することにより、区民の郷土愛や地域への愛着心の醸成を図り、区内の郷土記憶を広く区民に知らせ、後世に伝えていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ●幸区の郷土資料等の収集、整理 ●収集した写真による写真展の継続開催 ●「かたりべ」となる地域人材の積極的活用 ●区制40周年（2012年度）に関する記念事業の実施
VI - 3 多摩川などの水辺空間を活かす		
多摩川のアクセス向上事業 ＜局事業＞	誰もがわかりやすく、行きやすい多摩川へのアクセス環境の向上をめざします。	●御幸公園のスーパー堤防事業と連携したアクセス環境の整備実施

VII 参加と協働による市民自治のまちづくり

VII - 1 自治と協働のしくみをつくる

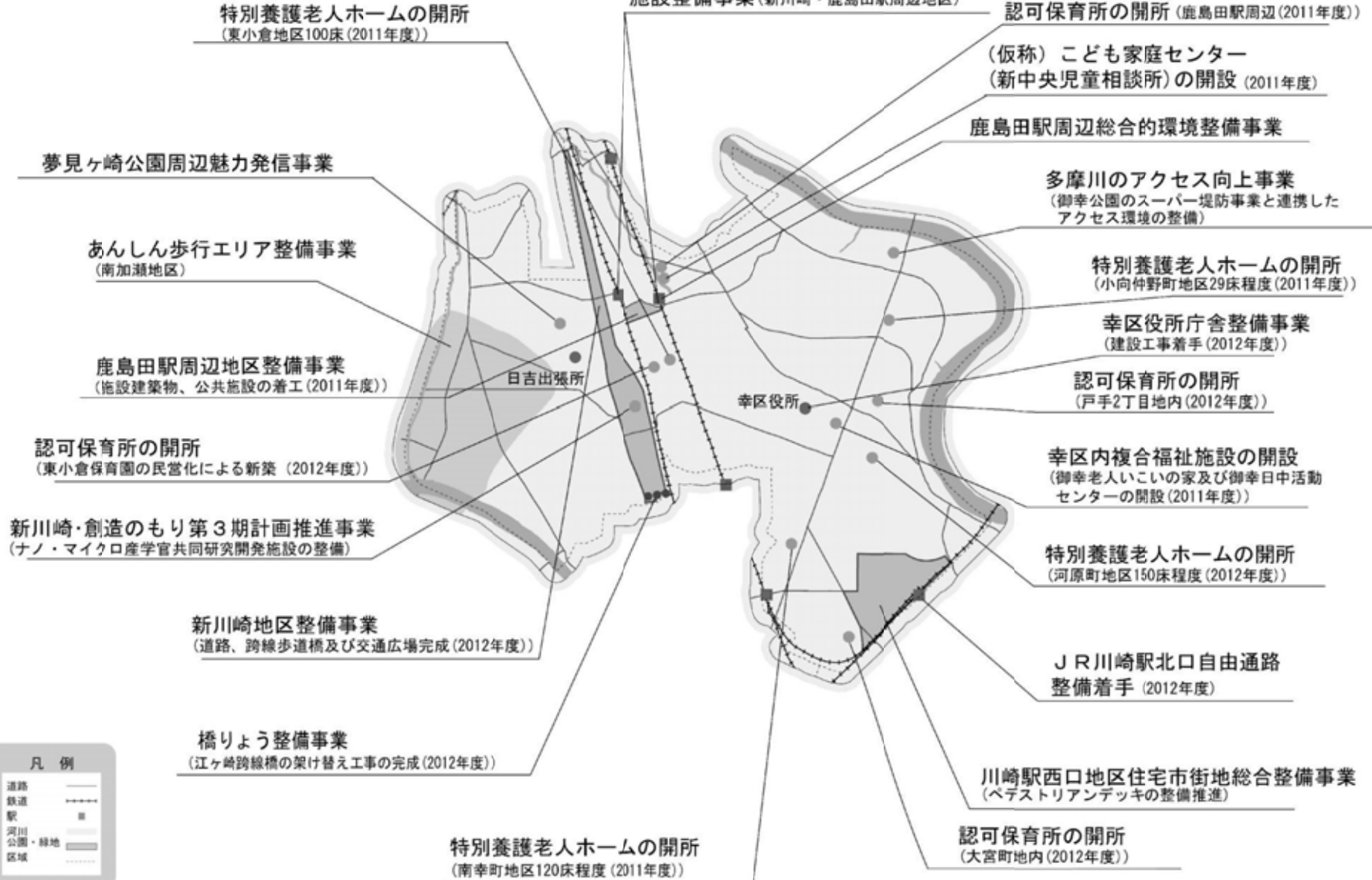
地域コミュニティ活動の推進事業 （地域コミュニティ活性化推進事業） ※⇒主要な取組③	地域のつながりを大切に、人々がともに支え合い、顔の見える“暮らしやすいまちづくり”を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会・自治会への加入促進 ●町内会・自治会組織の立ち上げ支援 ●町内会・自治会活動を支えるしくみづくり ●地域活動の活性化
地域振興事業 ＜局区連携事業＞	町内会・自治会の振興施策を検討するとともに、川崎市全町内会連合会の活動支援を行うことで、地域コミュニティの活性化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●川崎市全町内会連合会の活動支援 ●行政からの依頼事務の軽減の検討 ●町内会・自治会の振興施策の検討・実施

VII - 2 市民と協働して地域課題を解決する

鹿島田駅周辺総合的環境整備事業 （地域コミュニティ活性化推進事業） ＜局区連携事業＞ 【区民会議課題】 ※⇒主要な取組③	放置自転車対策をはじめとした JR 鹿島田駅周辺の環境整備などに取り組み、暮らしやすいまちづくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●総合的環境整備活動の実施 ●地域と連携したイベント等の検討・実施 ●自転車等駐車場整備の検討・実施
まちづくり推進事業 （地域課題対応その他事業）	区民が自ら、幸区のまちづくりに係る課題を発掘し、問題解決に向けて討議や実践活動を行う「幸区まちづくり推進委員会」を運営します。	<ul style="list-style-type: none"> ●第6・7期幸区まちづくり推進委員会の立ち上げ ●地域課題の発掘 ●地域課題解決に向けた討議・活動
幸区役所庁舎整備事業 ＜局区連携事業＞	幸区役所庁舎の再整備に向けた取組を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●幸区役所庁舎再整備に向けた基本・実施設計の実施 ●幸区役所庁舎の建設工事着手（2012年度）

幸区

緑化推進重点地区整備事業
 (新川崎・鹿島田駅周辺地区計画の策定)
 バリアフリー重点整備地区交通安全
 施設整備事業(新川崎・鹿島田駅周辺地区)



凡例

道路	——
鉄道	——
駅	■
河川	——
公園・緑地	■
区域